

都市計画法29条「開発許可」(自己業務用)共通添付書類

提出部数 正副2部

書 類 ・ 図 面 名		留意事項(よくある補正事項など)	チェック
1	申請書	宛名は「 白岡市長 」とする	
2	委任状	代理人による申請の場合に添付	
3	理由書	市街化区域の場合は添付不要	
4	公共施設の管理に関する協議書	該当する場合	
5	公共施設の管理に関する同意申請書	私道等の場合は、その権利者又は管理者の同意書	
6	設計説明書	記入は設計説明書裏面の備考欄を参照	
7	土地全部事項証明書	申請時前 6ヶ月以内 のもので最新の登記事項が記載されているもの	
8	土地・工作物の所有者の同意書	申請者以外の所有者がある場合	
9	土地・工作物の所有者の印鑑証明書	申請時前 3ヶ月以内 のもの 土地全部事項証明書と印鑑証明書の住所が違う場合は、転居がわかるもの(住民票など)も添付する	
10	土地・工作物の抵当権者等の同意書	例: 抵当権、根抵当権、賃借権、地上権、質権など	
11	土地・工作物の抵当権者等の印鑑証明書	申請時前 3ヶ月以内 のもの 登記上と住所が違う場合は、転居がわかるもの(法人登記簿謄本など)も添付する	
12	農用地除外証明書	申請地が市街化調整区域内で農地の場合に添付	
13	工場に関する調書	予定建築物が工場の場合	
14	設計者の資格に関する書類	開発区域が1ha以上の場合に添付 卒業証明書又は資格証明書の写し	
15	申請地現況写真(カラー写真2方向以上)	区域朱書き及び撮影方向を図示(現況図や土地利用計画図に図示でもよい)	
16	都市計画図(原図又はカラーコピー)	区域の朱書き、方位、縮尺を記入	
17	公図の写し【法務局で取得した原本】	区域の朱書き、申請時前 6ヶ月以内 のもの	
18	敷地現況図 1/2, 500以上	区域の朱書き、方位、縮尺、杭の種別、土地利用の状況を記入	
19	求積図(三斜法または座標法) 1/500以上	区域の朱書き、方位、縮尺、杭間距離を記入	
20	土地利用計画図 1/1, 000以上	予定建築物の配置と用途を記入 接道する道路の種類と幅員を記入 開発区域の朱書、方位、縮尺、杭間距離を記入 ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数・構造を記入 桝、排水管等の口径、材質を記入 土地の利用種別ごとに色分け	
21	造成計画平面図 1/1, 000以上	区域の朱書き、方位、縮尺を記入 切土は黄色、盛土は茶色で着色し、凡例を記入 BMの位置・高さ ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数、構造を記入	
22	造成計画断面図 H=1/100以上 L=1/500以上	切土・盛土をする前後の地盤高 切土は黄色、盛土は茶色で着色し、凡例を記入 擁壁等の工作物の記入 ブロック塀等(既設・新設)がある場合は段数、構造を記入	
23	排水施設計画平面図 1/500以上	貯留施設を複数設置する場合などは、排水区域の区域界を記入 設置する桝を全て記入し、配管も図示する(桝の設置間隔は、管径の120倍以内等) 桝、排水管等の口径、材質を記入	
24	給水施設計画平面図 1/500以上	給水管の口径、材質記入、消火栓の位置を記入	

(裏面もご覧ください)

25	排水施設の構造図 1/50以上	最終枳、雨水浸透枳、浄化槽認定シート等 道路側溝等に放流する場合は接続断面図(雨水の場合、接続管の口径は75φ以下) 最終枳・雨水枳の泥溜は、150mm以上確保する	
26	擁壁・土留の構造図 1/50以上	擁壁の場合は構造計算書・地耐力の根拠(ボーリングデータなど)を添付する 土留めにするブロックなどは、配筋(ピッチ等)を記入	
27	雨水及び汚水流量計算書	開発区域が1ha以上の場合は、県河川砂防課の許可書等添付	
28	排水放流許可書等		
29	水路占用許可書、道路占用許可書		
30	その他、許可権者が必要と認める書類	例:既設・新設ブロックが開発区域線上にある場合、隣地所有者の同意書など	
31	資金計画書	開発区域が1ha以上の場合に添付	
32	残高証明書		
33	融資証明書		
34	申請者の業務経歴書		
35	申請者の前年度の納税証明書		
36	工事施工者の建設機械目録、技術者名簿及び工事経歴書		

※すべての図面に、図面名・縮尺を記入してください。

※各設計図面には、作成者の氏名を記載してください。